

平成29年度事業報告

平成29年度の事業計画に基づいて、次の事業を実施した。

1 社会保険制度の普及宣伝事業

- (1) 社会保険制度の普及と円滑な運営に寄与するため、社会保険制度の周知や日本年金機構及び全国健康保険協会神奈川支部からのお知らせ等を掲載した機関誌「社会保険かながわ」を毎月作成し会員事業所に送付した。
また、県内の各年金事務所及び全国健康保険協会神奈川支部に窓口での配付を依頼し社会保険制度の周知・啓発に努めた。
記事の提供については、日本年金機構南関東地域第一部・第二部及び全国健康保険協会神奈川支部の協力を得ている。
併せて、当協会ホームページにも機関誌「社会保険かながわ」を掲載し毎月更新を行うとともに、常時公開して社会保険制度の周知及び協会事業の案内を行った。
- (2) 社会保険制度の普及と周知を図るため、健康保険・厚生年金保険制度をわかりやすく解説した図書を作成し希望する事業所に送付するとともに、日本年金機構年金事務所が開催する算定基礎届事務説明会に社会保険事務必携等の図書を提供した。
- (3) 日本年金機構年金事務所・全国健康保険協会神奈川支部の協力により、社会保険制度及び社会保険事務手続等の事務講習会を開催し社会保険制度の周知に努めた。
また、職域型年金委員会連合会と共催し事務講習会を開催した。
- (4) 会員事業所からの要望により社会保険労務士を事業所に派遣し、事業主・被保険者に対し個別年金相談及び医療保険相談を実施した。

2 健康づくり事業

- (1) 会員事業所に対して「職場の健康づくり講習会」の開催を促し、希望する会員事業所に対しては無償で精神保健福祉士等の専門講師を派遣し、また、ビデオテープ・DVD・体力測定器具等の貸出を行い、職場における健康づくりの推進と健康管理意識の高揚を図った。
- (2) メンタルヘルスの図書及びインフルエンザ予防等のパンフレットを作成し、会員事業所に送付するとともに、各年金事務所・全国健康保険協会神奈川支部の窓口での配付を依頼し健康の保持、管理の向上に努めた。
- (3) 被保険者等の健康の保持増進のため、健康に良い料理教室を開催した。
- (4) 会員相互の親睦と健康増進を図るため、野球大会・ボウリング大会・さわやかウォーク・バスハイクを実施した。
なお、さわやかウォーク開催時に保健師等による健康相談及び体力測定も実施した。
- (5) 県からの依頼により、県職員によるがん検診の講話とパンフレット等を配付し、がん検診受診促進事業に協力・支援した。

3 福利増進事業

被保険者等の福利の保持増進のため、保養施設・レジャー施設と契約を結び、利用料等の助成を実施した。本年度は、レジャー施設に横浜銀行アイスアリーナを追加し、他の保養施設・レジャー施設と同様に、本部一括事業とし、事務の効率化を図った。

なお、レジャー施設の助成事業については、殆どにおいて募集人数より申込人数が上回ったが、本年度も申込者全員に利用券を発行した。利用率は21%～50%で、利用者数は一部を除いて、前年度より増加した。

また、釣り大会・地引き網等についても近隣支部と共催するなど、メリットを活かした活動を引き続き展開した。

4 その他の事業

- (1) 介護福祉士による一日在宅介護教室を実施し介護保険制度・介護の基礎知識・認知症・高齢者をめぐるさまざまな現状等の講義と体位交換・排泄・着替え・移動の介助方法の実技を実施した。
- (2) 退職後、豊かで健康的な生きがいのある生活を過ごしていただくために、定年まぢかの者及び事務担当者を対象に年金とライフプランセミナーを実施した。
- (3) 職域型年金委員会に協力・助成した。

5 支部事業への支援

支部事業を円滑に推進するための助言と支部事業に協力支援を行った。